

保育の目標

- 生き生きとあそぶ子
- 自分のことは自分でしようとする子
- 相手の気持ちがわかる子

一日の生活の大半を過ごす保育所では、子どもたちの依存したい気持ちと独立したい気持ちのあるがままを温かく受け入れて、くつろいで生活させる中で、子どもの最善の利益を考慮し保護者の協力のもとに、意欲と思いやりのある心豊かな子どもに成長するよう援助していきます。

環境

子どもたちは、自ら自分のまわりの環境に働きかけ、遊びや活動をする中で成長していきます。環境とは、子どもをとりまく大人や友達、まわりの自然な子どもにかかわるものをいいます。

- ・危険がなく、のびのびと安定した生活ができるようにします。
- ・子どもの好奇心や興味がわくようにします。
- ・子どもの発達に応じ、能力を発揮させます。

これらを、子どもにとってよい環境と考えています。保護者と力を合わせ、子どもたちにより環境を提供していきたいと思えます。

あそび

遊びは、子どもの人格形成に大切な意味をもっています。

- ・自分のしたいことを見つけて遊ぶ中で、自発性が育ちます。
- ・同年齢や異年齢の友達と一緒に遊んだりけんかをしたりする中で、人との付き合い方を学びます。
- ・自然などいろいろな直接体験をする中で、感性が育ちます。
- ・繰り返し遊ぶ中で、思考力が育ちます。

習慣・態度

<基本的な生活習慣>

生活していく上で大切な食事、排泄、睡眠、着脱などは、まわりの大人の手助けで、子ども自身が身につけていきます。

<社会的な生活習慣>

「おはようございます」「こんにちは」などの挨拶や、食事のマナーなどは、まわりの大人がよい手本となり、してみせること、また交通ルールや集団生活の決まりなどは、大人が子どもにわかりやすく教えていくことで身につけていきます。

<道徳性>

「ありがとう」や「ごめんなさい」といった感謝の気持ち、思いやり、正義感などは、相手の立場に立ってはじめてその意味がわかり、行動が成り立ちます。これは言葉や押しつけでは身につけません。まわりの大人のよい環境の中で、子どもに考えさせていきます。

人間として生活していくうえで大切なこれらの生活習慣態度を、保護者と手を取り合って育てていきたいと思えます。

保育の中で大切

0 歳児

- ・健康状態の細かい観察と、一人一人の生活のリズムを重視し、生理的欲求や甘えたい気持ちを十分満たして、安定した心で快適に生活できるようにしていきます。
- ・一人一人の発育・発達状態に合わせて離乳を進めていきます。
- ・寝返り、はいはい、伝い歩きなどが、それぞれの時期に無理なくできるよう環境を整え、援助していきます。
- ・優しく表情豊かに話しかけたり、あやしたりして、喃語の発声や豊かな反応を促します。 ※喃語…乳児のまだ言葉にならない段階の声
- ・まわりのものを見たり、音を聞いたり、玩具などの関わりをとおして、外界に対する好奇心や興味が育つようにしていきます。

1 歳児

- ・一人一人の甘えや依存欲求を満たし、安定した心で過ごせるようにしていきます。
- ・保育士に援助してもらいながら、自分でしようとする気持ちを育てていきます。
- ・歩く、登る、くぐる、押すなど、身体を動かすことを楽しませていきます。
- ・身の回りの様々なものとの関わりをとおして、外界に対する好奇心を育てていきます。

2 歳児

- ・一人一人の気持ちを理解し、温かく受け入れてもらいながら、くつろいで遊ぶことができるようにします。
- ・援助してもらいながら、簡単な身の回りのことができるように促します。
- ・走る、跳ぶ、登るなど全身を使う遊びや、丸める、めくるなど手や指を使う遊びを十分に経験します。
- ・一緒に遊びながら子どもの気持ちを受け入れ、友達とのかかわり方を知らせていきます。
- ・模倣遊びや簡単なごっこ遊びの中で、言葉のやりとりやリズム表現などを楽しめるようにしていきます。

にしていること

3 歳児

- ・戸外でのびのびと遊ぶ経験をとおして、体を動かす楽しさを味わいます。
- ・自分でしようとする気持ちを大切に、身の回りのことが一人でするようにしていきます。
- ・友達との楽しい遊びの経験から、少しずつ約束やきまりを知らせていきます。
- ・身の回りの出来事や、自然、動植物などに親しませ、興味や関心を育てていきます。
- ・楽しい言葉のやりとりや遊びを通して、相手の気持ちに気づき、自分の思いも伝えられるように促していきます。

4 歳児

- ・戸外で十分体を動かして遊ぶ経験をとおして、様々な動きができるようにします。
- ・自分ですることに喜びを持ち、身の回りのことは一人でするようにしていきます。
- ・友達との遊びや生活をとおして、きまりの大切さに気付き守れるようにしていきます。
- ・話を聞いたり様々な経験をする中で、イメージを広げ、言葉や絵、音楽などの表現を豊かにしていきます。
- ・友達との遊びや生活を通して、相手の気持ちに気づき、自分の思いをも伝えられるようにしていきます。

5 歳児

- ・友達と楽しく活動する中で、共通の目的を見だし、工夫したり協力したりなどできるようにします。
- ・生活習慣や安全などの意味が分かり、安全に気を付けて行動できるようにしていきます。
- ・まわりの人々に対する親しみを深め、そのかかわりの中で互いに思いを主張し、折り合いをつける体験から、自分の気持ちを調整する力が育つようにしていきます。
- ・いろいろな体験を通じてイメージや言葉を豊かにし、絵本や物語に親しみ、想像をする楽しさを味わいます。
- ・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう経験をします。

保育所

<一日の生活>

0・1・2歳児	時間	3・4・5歳児
随時登所 遊び 間食 遊び 食事	7:00～ 9:30～ 11:00～ 11:30～	随時登所・あいさつ 遊び (カリキュラムに基づく活動) 食事
午睡 間食 降所の準備 随時降所 延長保育	12:00～ 13:00～ 15:00～ 18:00～ 19:00	午睡 間食 降所の準備 随時降所 延長保育

<主な年間行事>

4月 入所式 内科健診	10月 遠足 収穫パーティ 内科健診
5月 おやこえんそく	11月 勤労感謝訪問 歯科検診
6月 歯科検診 保育参観	12月 表現会 クリスマス会
7月 七夕 夏まつり	1月 新年会
8月 水遊び	2月 節分 保育参観
9月 運動会	3月 ひなまつり お別れ会 修了式

*月の行事…誕生会 避難訓練 身体計測

子どもたちの生活経験を広げ、豊かな心を育てるために、行事を取り入れています。
保護者参加の行事もありますので、ご協力をお願いします。
(各保育所によって実施月や行事内容が多少異なることがあります)

の生活

<おねがい>

1. 送り迎え

欠席、遅れてくるときやいつもの方の送迎でない場合は、必ず電話などで事前にお知らせください。

2. 食事

- ・0, 1, 2歳児は、主食、副食、間食を提供します。
- ・3, 4, 5歳児は、副食および間食を提供します。

主食はできるだけ白飯を持たせてください。

*管理栄養士による、質や量、栄養を十分に考慮した献立をもとに食事を提供しています。朝食は1日の活動源となりますので、食べて来てくださいね。

3. 午睡

- ・年間を通して行っています。(各保育所によって異なります)
- ・布団を用意してください。

*長時間集団生活をし、力いっぱい遊ぶ子どもたちには午後の休息はとても大切です。

4. 病気

- ・感染症にかかったときは、医師の指示に従ってください。
- ・薬の服用が必要な場合には、1回だけに名前を書き、「くすりの連絡票」を添えて、直接保育士に手渡してください。
- ・子どもは自分の体の調子が悪くてもうまく伝えられません。少しでもいつもと様子が違うときには、登所時にお知らせください。
- ・発熱や下痢、嘔吐など、健康上異常が見られたときは連絡します。

5. 清潔

- ・爪が長いと危険です。いつも心がけて切ってください。
- ・髪の毛や手足など常に体の清潔に気を付けてください。

6. 服装

- ・活動しやすいものを着せてください。(制服はありません)
- ・持ち物、衣類にはすべて名前を書いてください。

光が丘保育所について



金沢の南部地区に位置し、高尾の山のふもとにあります。

周辺には工夫された公園が多くあり、天気の良い日はよく散歩に出かけ、開放感を味わいながら自然物に触れたり、思いきり身体を動かしたりしています。



【基本情報】

名称 金沢市立光が丘保育所

設立 昭和50年

所在地 〒921

金沢市光が丘2丁目104

連絡先 TEL：076-298-1153

FAX：076-298-2685

定員 132名

職員構成 所長 主任 保育士 調理員 用務員



【保育事業】

乳児保育 延長保育 統合保育 年末保育 子育て相談

一時あずかり保育

【未就園児子育て広場】 きらきら子育て広場

対象：0歳～就学前のお子さんと保護者

日時：月1～2回 9時30分～11時

